

実力確認 心理学検定模擬問題集 正誤表

※最新の正誤表はホームページにてご確認ください (<http://www.kumi-web.co.jp/>) (2013年8月21日現在)

該当頁	該当箇所	誤	訂正・補足
問 題 編			
p.40	問題 1 選択肢 C	ブルナー (Bruner, J.) は、ある場面において自尊感情	ブルナー (Bruner, J.) は、自尊感情は自己概念化の文脈的顕現化において形成されるとした。
p.41	問題 4 選択肢 E	選択肢 E が抜けていますが、解答には差し支えがありません。	
p.46	問題 13 選択肢	1. ~ 2. ~ 3. ~ 4. ~ 5. ~	A. ~ B. ~ C. ~ D. ~ E. ~
解 答 編			
p.32	問題 1 選択肢 C	C : ○ 信頼性係数の大きさを推定する方法として、内的整合性 (クロンバックの a 係数) を利用する方法がある。	C : ○ ニュールック心理学を開拓したブルナー (Bruner, J.) は、人は様々な認知的理論の文脈の中で能動的に新しい概念を形成する能力を有しているとしている。自尊感情は自分自身の効力性と自己評価が認知的理論の文脈の中で顕現化することで形成されると述べている。
p.33	問題 6 選択肢 1	1 : × アッシュはゲシュルト心理学の立場から、~	1 : × アッシュはゲシュタルト心理学の立場から、~
p.34	問題 7 選択肢 D	D : ○ McGuire とメッセージを呈示される前に、どのようなメッセージが提示されるか予告されると説得効果は提言する。	D : ○ メッセージを呈示される前に、どのようなメッセージが提示されるか予告されると説得効果は低減する。